

令和4年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	大和市下草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター下草柳会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
下草柳	42	2,418	336	128	2,924	9.5	308

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

	事業名	開催期間	参加者数
4	4月の工作(プラ板)	4/1～4/30	98人
5	5月の工作(ポーチに絵を描く)	5/10～5/14	37人
6	6月の工作(クルクルレインボーづくり)	6/7～6/11	22人
7	七夕のつどい(スライム作り、ゲーム)	7/2	20人
	7月の工作(プラ板のキーホルダーづくり)	7/12～7/17	23人
8	8月の工作(ガラスライト制作)	8/16～8/20	17人
9	9月の工作(ウォールポケットづくり)	9/6～9/11	20人
10	ハロウィン工作(ミニほうきにフェルトで飾り付け)	10/11～10/15	25人
	ハロウィンお楽しみ会(マスク工作、チェキ撮影、カードづくり)	10/28	41人
11	11月の工作(手作り黒板づくり)	11/15～11/19	41人
12	12月の工作(クリスマスオーナメントづくり)	12/6～12/10	13人
	クリスマス会(ゲーム、アルミ箔スタンドグラスカードづくり)	12/16	53人
1	1月の工作(干支のポンポン飾り)	1/17～1/21	29人
2	節分の豆まき(折り紙でマスづくり、豆まき)	2/3	18人
	2月の工作(ひな飾りづくり)	2/14～2/18	13人
3	3月の工作(国旗ビーズづくり)	3/14～3/18	25人

※コロナ禍の影響により、夏祭りは中止。

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,845,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,705,000
休館中の精算分 (空調工事期間)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	139,931
収入計(①)	2,845,000	支出計(②)	2,844,931

収支決算	69
------	----

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和5年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和4年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 コロナ禍中の運営について、感染防止対策の徹底が継続されており、昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果(前年度対比約165%増)になったことについて、高く評価します。 利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 感染防止対策を徹底し、イベントや工作などに積極的に取り組み、今年度に計画した自主事業について、コロナ禍の影響もあり、夏祭りは中止となりましたがハロウィンお楽しみ会やクリスマス会などの、規模の大きなイベントを実施するとともに、実施日を日曜日から金曜日に変更したことで、参加者も増加する効果もあり、ほぼ計画どおり事業を実施できたことを評価します。 工作は利用者の関心や興味を引く内容を企画し、昨年度とは異なる内容とすることで、子どもたちが飽きず、創作意欲を向上させるよう努めるとともに、毎月開催することで児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 子どもたちが、ハロウィンパーティで使用する飾りの作成や、飾りつけなどの準備に携わるほか、節分の豆まき後には率先して掃除機掛けを行うなど、事業を通じて児童の情操育成と環境意識の向上に努めている点を評価します。 子どもたちに人気の卓球については、時間制限を設けるとともに、消毒の徹底など、コロナ禍の中でもできる限り児童の要望に応える取り組みを評価します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。